

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 4月 27日公開
イスラエルのミサイルがシリアのドローンを阻止、その他世界情勢

.....

ここ、イスラエルは今夜、とてもドラマティックな夜を迎えています。ほんの数分前、イスラエルの対航空機ミサイルが、ゴラン高原地域でシリアから飛んできたドローンを阻止しました。その前に、イスラエルによるダマスカス攻撃があり、それからまだ24時間も経過していません。これに関しても、後ほどお話ししますが、緊急速報が出ています。皆さんに聞こえるかどうかは分かりませんが、私は今、エズレル平野空軍基地のすぐ側にいます。恐らく、15機のF-16が、この10分ほどの間に離陸しています。ここガリラヤでは、とてもドラマティックな夜となっていますが、全てはシリアで起こっていることによるものです。

まずは、ゴラン高原にあるイスラエルのパトリオットミサイル（対ミサイル迎撃用）がドローンを阻止した件について。それは、シリアから一日中報復の脅しがあった後の事で、——F-16が離陸する音が聞こえているのでしょうか？通常はこんな遅くに離陸するという事はないのですが、——とても興味深いです。繰り返しますが、今はとても面白い時期です。だから私はフェイスブックライブで、今の中東とイスラエルで実際には何が起きているのかをお知らせする必要があると思ったのです。このアップデートの間じゅう、F-16が飛び立つ音が聞こえると思います。これからお伝えすることの、面白い音響効果になるでしょう。

アップデートに入る前に、私達の You Tube をご覧いただいた皆さんに御礼を述べたいと思います。Behold Israel の You Tube チャンネルをご登録ください、という私のリクエストを聞いてくださったこと、それから、「Jesus in the Old Testament」（旧約聖書の中のイエス：日本語字幕版は2016.6.27現在、DIVINE US のホームページでPDF版のみが掲載されています）は、視聴回数が20万回を超えました。これは物凄いことです。なぜかと言えば、このメッセージはユダヤ人にも、ユダヤ人以外の人にも同様に向けられたものだからです。旧約聖書全体を通してイエスがどれ位出てくるか、旧約聖書の中でイエスがメシアであることをいかに説明しているかを、この動画の中で語っています。異邦人の方にとっては、メシアについての理解が深まると思います。また、ユダヤ人に伝道する時に、正しい答えを備え、「メシアについて」「メシアの希望について」伝えるのに役立つことでしょう。

では、中東の現状についてアップデートを始めましょう。その前に、お祈りをしたいと思います。

天のお父様、感謝します。

あなたは主なる神であられ、全てをコントロールされています。世界中の状況、中東の現状など、あなたにとっては何でもない事です。あなたは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言われます。そこで主よ、感謝します。あなたは、その御言葉を成就させ、約束を守る神であられ、あなたの子も達があなたのご計画を知る事を願われます。父よ、感謝します。あなたは、あなたの預言者やイエスを通して、そのご計画を私たちに知らせてくださいました。そこで父よ。今夜、私達が世界で起こっている事

を見て、また御言葉を見ていく中で、どうかあなたが全てを支配してください。主よ。このブロードキャストの技術的な側面も、どうかあなたが支配してください。そして、全ての栄光と誉れをあなたがお受けください。

このお祈りを、他に比べる者のない、最も美しい御名、イスラエルの聖なる方、私が座っているこの場所から 16 km のところでお育ちになった方、昔いまし、今いまし、後に来られる方、しかも、すぐに戻って来られます。だから私たちはこれほどに喜んでいるのです。主よ、感謝し、ヤシュア、イエスの御名によってお捧げします。

アーメン。

さて、先ほども言いましたが、私はとてもワクワクしています。中東の現在の状況についてお話ししましょう。(F-16 離陸音) また離陸しましたね。まず、現在イスラエルの警戒態勢がとても高くなっています。我々がシリア、ダマスカスの武器庫を攻撃するたび、報復、復讐などに備えて、警戒態勢を強めます。ところで、一つ明確にしておきますが、我々は一般市民への攻撃は一切していません。我々は人を狙いません。我々が攻撃しているのは、武器庫です。我々は、武器庫の保管庫を攻撃しているのです。それもただの武器ではありません。イランが届けている武器です。それは、バシヤール・アサドが使用する目的ですが、多くの場合、中東での彼らの手先であるヒズボラに届けられています。ここ数週間で我々が気付いたのは、持ち込まれる武器、おもにロケットが貨物飛行機からだけではなく、一般の飛行機からも荷卸しされているという事です。つまり旅客機です！考えられますか？乗客を乗せた旅客機ですよ。しかも乗客は、ロケットが 747 機や 767 機の腹部にあるなどとは、全く知らないのです。信じられない事です。しかし、私達はダマスカスに目を見張り、そこで起こっていることを正確に把握しています。私達はダマスカス周辺の空軍基地だけでなく、旅客機用の空港にも目を見張らせているのです。そこに彼らは、そういった武器を保管しています。また、彼らは、その場所に対航空機のバッテリーを保管しているのです。皆さんに理解しておいてほしいのは、我々はそのにある類の武器が保管されていることを発見し、それを取り去ることにしたのです。どうか皆さん、理解しておいてください。我々は意味もなく攻撃したりしません。我々が攻撃するには理由があり、それは自衛のためです。繰り返しますが、我々の軍隊の名称は「イスラエル防衛軍」(Israel Defense Forces)。我々は自国民を防衛し、自国を防衛します。そのため、後々私たちに向けられる武器を保管している倉庫は、どんなことをしてでも破壊するのです。という事で、明確にしておきます。我々は攻撃しました。F-16 の何機かが、朝の 4 時ごろダマスカスを攻撃しました。ちなみに、彼らはエズレル平野からは離陸せず、国の中央部にある、別の空軍基地から発進しました。そして使命は完了され、皆家に帰りました。私達のところには、人権機関やリベラル派、ヒズボラのテレビ、シリア政権の公式報道など、様々なところからの報告が入り始めています。面白いのは、一時間ほど前に、イスラエルが主張しているダマスカス攻撃は「違法である」とロシアが述べたことです。違う言い方をしましょうか。ロシアは、アレッポのような人の住む町を爆撃し、想像を絶するような大虐殺を行って、何千人もの人が死にました。こちらは合法。しかし、イスラエルが武器庫を攻撃すると—— 一般市民にではなく！—— 我々はダマスカスには爆弾を投下していません。ダマスカスのはずれです。それが違法だと言うのです。それもロシアのやり方が、なんとも奇妙なのです。覚えているでしょうか？ロシアは、我々の彼らに対する冷遇を、一つ一

つ書き留めていると、数週間前にお伝えしました。そして、自分たちがイスラエルに攻め込む権利と、恩恵と、義務を蓄積させているのです。

ということで明確にさせておきます。現在シリアでは緊張が高まっています。皆さんが理解しておくべきは、シリアは、イランやトルコ、ロシアがシリアのあちこちで人々を爆撃することは構わないのです。しかし、イスラエルが武器を破壊するために攻撃していることについては——神が証人です——、シリアにおいては、我々イスラエルが最大の問題なのです。今後、ダマスカスがイスラエルにとってさらに大きな問題になっていくことは目に見えています。しかしイスラエルは、あちらに行つて自分達のすべき事を済ませることに弁明はしません。それから、それに対して世界、特にロシアがどう問題視するのかも、私には見えています。ということで、これらを目撃していくと、大変面白いことになるでしょう。

もう一つ皆さんが理解しておくべき事は、地中海は軍艦でいっぱいだという事です。トルコの貨物船がロシアの戦艦と衝突し、幾人かの犠牲者が出ました。ロシアは実力行使を示唆しているのです。ただ一方で、皆さんが理解しておくべき事は、ロシアにはアメリカとの戦争をする余裕はありません。今の時点では、ただ、実力行使を示唆したり、脅迫したり、そういう余裕はあるのです。皆さん、しっかりと理解しておいてください。現在、ロシアとNATOとの間に緊張感が高まりつつあります。ちなみにNATOとは、第二次世界大戦の後、1949年に構成された北大西洋条約機構の事です。現在もアメリカとカナダを除いて、全てヨーロッパの28か国で結成されています。そのNATO 28か国のうち3か国は、国連安保理で拒否権を持つ常任理事国です。また、彼らは核兵器所有を宣言しています。ということで、元々NATOはただの軍事同盟でしたが、1950年代には大部分で政治的な役割を果たしました。そして、朝鮮戦争（書記注:1950~1953）が始まった時、全てが終息に向かったのです。とても興味深いのは、当時の朝鮮半島の緊張感はNATO vs. 当時のソビエト連邦、現在の朝鮮半島の緊張感はNATO vs. ロシアの「衝撃波」によって、創り出されているという点です。という事で、先ほども言いましたが、NATOは今現在、巨大軍隊を移動させています。今、私のところに東ヨーロッパの異なる国々のたくさんの人から報告が入っています。その人たちが今、戦車や武装車両、貨物機などが移動しているのを目撃中です。現在、おびただしい数が彼らの領土全土を横断してリトアニアに向かっている。NATOとロシアの緩衝国に向かっています。ロシアは、そちら側では自分達の駐留に磨きをかけ、北朝鮮側でもウラジオストクの港で同様の事を行っています。そして、私達も知つての通り、アメリカは北朝鮮を放置しておかず、実際に

「好き放題出来ていた時代はもはや終わった」

「国際法に従つて、核実験を止めろ」

「核兵器の所有を止めろ」

と言いました。北朝鮮はすでに核を備えています。ただ、それをあまり遠くまで到達させる手段がないだけです。だからこそ、彼らは今、あのような実験を行おうとしているのです。彼らは既に所有している核兵器を、アメリカや他の場所まで到達させる手段を実験しているのです。だからアメリカは、何が何でも彼らにその能力を持つロケット、おもに弾道ミサイルですが、その実験をさせないようにしているのです。ですから、NATOとロシアの間で、緊張感が高まっています。それからもちろん、アメリカ合

衆国はハワイ前線と同様にアラスカ前線にも、すでに準備を整えています。そして、北朝鮮の地域では既に、アメリカの核潜水艦が控えています。昨日は、韓国とアメリカとで大規模軍事演習が行われました。北朝鮮はこれまでになかった形で、自身の迫撃砲を発砲して応じ、金正恩の威力を示しました。

もう一つ、皆さんに理解しておいてほしいのは、アメリカとイスラエルはますます親密になっています。実際、2017年5月22日に、ドナルド・トランプ大統領が初の中東訪問をしますが、真っ先にイスラエルを訪問することが、ほぼ正式に決定されました。皆さん、ご存知かどうかは分かりませんが、バラク・オバマは大統領になった時、彼の初の中東訪問で「イスラエルを除く全ての国々」を訪問しました。実に彼は、イスラエルを飛ばしたのです。彼はエジプトに直行し、サウジに行き、他の湾岸諸国を訪れ、そして中東におけるアメリカ最大で最強の味方であるイスラエルを訪れなかったのです。当時、あの時点で既に私にとってはレッドフラッグ（危険信号）でしたが、その後カイロでの演説があって、私には決定的となりました。

「この男は、イスラエルにとってだけでなく、アメリカにとっても大変危険な人物だ！」トランプ大統領は48時間以内の短期間訪問ですが、すでに代表団25人がイスラエル入りして訪問に備えています。ただ、皆さん、どうか理解しておいてください。終わりの時、エルサレムを取り巻いて、物事が沸騰すると聖書は約束しています。そして、ドナルド・トランプの中東訪問の計画は既に公表されており、「和平交渉」です。そこで、明確にしておきます。ここ数か月の間に、多くの方からこのようなご質問がありました。

「アメリカ大使館はいつエルサレムに移転するのですか？」

わたしは何度も言っていますが、それは起こりません。なぜなら、アメリカが大使館をエルサレムに移転させるという事は、基本的にイスラムがもはや活力を失い、脅威の宗教でなくなったときでなければ、不可能だからです。現在のイスラムを世界中が恐れています。それは認めましょう。ヨーロッパもアメリカも彼らを恐れています。他の国々もそうです。過激派イスラム教徒を刺激しないように、皆が忍び足で歩いているのです。はっきり言っておきますと、今の時点で、この空気の中で、米大使館をエルサレムに移転させるという事は、文字通り第三次世界大戦を意味します。イスラムの暴徒、集団が怒り狂い、アメリカとイスラエルに対して戦争を挑むのを、穏健派イスラム国家が抑えきれなくなるのです。これはアルカイダにとっては、火に油を注ぐようなものとなります。ちょうどアルカイダが、「9・11の何千倍ものことを実行する！」と宣言したばかりです。と言っても、私はアルカイダを恐れているわけではなくて、ただ、彼らはそれを実行する絶好の口実を待ち構えています。そしてそのことは、彼らにとって絶好の口実になるのです。それから私は、今の時点で大使館をエルサレムに移転させることが、イスラエル人にとってそれほど益になるとは思えないのです。しかし、私に一つ分かることは、ドナルド・トランプが

「我々は大使館を移転させない。しかし、エルサレムはイスラエルの首都であると断言する」

と言うだろうということです。ただ、彼らが「エルサレム」が首都だと言う時は、「西エルサレム」を指して言っているという事を念頭に入れておいてください。そして、それに関しては、実際のところ彼らは態度で示しています。イスラエル首相を訪れる際は、皆エルサレムに来ます。テルアビブで面会する人はいません。エルサレムには既に、領事館があるのです。もちろん、イスラエル人とネタニヤフにとっては、象徴的ではありますが、それでもイスラム界のために大使館を移動しないと、言っておきま

しょう。ですから、冷静に落ち着いてください。それは起こりません。以前、ライブで「大使館の移動はない」と言いました。移転は賢明ではないと。私も、イスラエルを誇りとするユダヤ人としては、アメリカ大使館がエルサレムに移転するのを見たいですよ。私もエルサレムがイスラエルの首都だと信じています。しかし、同時に、私はここに住んでいるのです。私の息子は IDF に所属していますし、中東、特にイスラエルでは、まっすぐ戦争に向かうという事は、存亡の危機に関する戦いだということも分かっています。生きるか死ぬかの戦いなのです。大使館の移転は間違いなく戦争を生み出すものです。何百、何千という数の兵士が死ぬのです。何のためにですか？大使館が、建物がエルサレムに出来るために？私たちは大使館がテルアビブにあっても構いません。中東の状況が落ち着くまでそこにあっても、私は一向に構わないのです。ただ、今回の件は、ドナルド・トランプがエルサレムに来て、ネタニヤフに会い、「ここがユダヤ人の首都だ」と言う。それだけで既に大きな一歩なのです。なぜなら、これまでどの大統領も「エルサレム」と言う時、「イスラエルの首都」として使うのを避けてきたのですから。彼らは常に、エルサレムの運命は和平交渉で決まると言い、それ以上踏み込んだことは一切言ってこなかったのです。ですから、今回はイスラエルにとって、大きな動きだと言えるでしょう。しかし同時に、世界中の他の国、特にイスラム界に対しても、ドナルド・トランプは「エルサレムはユダヤ人の首都かも知れない。しかし心配しなくても良い。我々の大使館はエルサレムには移転しない。このままテルアビブに置いておくから。」と言うでしょう。

もう一つ今回お伝えしたいのは、現在緊張が高まりつつあるトルコとヨーロッパ連合についてです。皆さん理解しておくべきは、4月16日の国民投票で、エルドアンがギリギリの過半数 51.6%で勝利しました。彼は国民投票で自分自身をスルタン(イスラム君主)の地位に置きました。議会の権力を一切奪うことなく、です。2017年4月16日は、トルコの民主主義が葬られた日となりました。民主主義が死んだ日です。そしてトルコは、スルタンの支配国へと逆戻りしました。アンカラにあるスルタンの宮殿には、1,100室の部屋があり、彼は自分自身をスルタンとして扱われることを望んでいます。ほとんどの人が貧困以下の生活をしている中で、彼は宮殿に何億ドルという資金をつぎ込みました。トルコ経済は流血状態で、ホテルはどこもガラガラです。少しでもお金を得ようと、5つ星ホテルが一泊 20ドル~30ドルくらいで宿泊させているのです。とにかくお金が必要、資金の流通が必要なのだ、ということです。トルコ経済は大変なことになっているのです。それから、ロシアからトルコへの直行便が廃止され、トルコに大打撃を与えています。そこで、トルコが試みていることは、ヨーロッパに行って、ヨーロッパ人たちに言うのです。

「ほら。私達のところには今、最低でも何百万という難民がいるんだぞ。ほとんどがイラクやシリアからの難民だ。今は私たちが彼らを抱えている。しかし、ヨーロッパが『明日』までに…」

ちなみに、明日は金曜日。ヨーロッパ議会は金曜日、トルコについて協議します。

「7,500万人のトルコ人へのビザ免除を要求する」

言い換えれば、

「我々はヨーロッパ連合の一員ではないが、ヨーロッパで働きたい。トルコの7,500万人の男性全員がビザなしで自由にヨーロッパに出入り出来るようにせよ！」

という事なのです。理解しておいてください。これはヨーロッパの人々にとっては悪夢です。今現在、彼らには既にシリアやイラク、北アフリカからの難民が溢れ返っているからです。それなのに、今度はトルコが自国の男たちをビザ無しで自由に出入りさせろと言ってきているのです。ヨーロッパは今、どうして良いか分からないでいます。ヨーロッパとトルコは今、激突しています。実際、トルコの首相が、今日

「我々のヨーロッパとの関係は、過去最悪だ」

と述べました。もちろん彼は、明日の会議に向けて、ヨーロッパに圧力をかけるためにこう述べたのですが。

イランはヒズボラに引き続き武器を輸送していますが、同時に2日ほど前、ペルシャ湾で、イラン船舶がアメリカの戦艦に接近し、それが高速であったため、アメリカは阻止しなければなりません。そうでなければ、このイランの船舶はブービートラップ（謀略）だったので、爆発していたのです。このようにアメリカに対する反逆行為が今現在行われており、彼らはアメリカが様々な方面で手薄になるように仕向けています。これらがどのようになるのか、とても興味深いところではあります。

フランスの大統領選はどうでしょう？マクロンとルペンが第2戦へと進みましたが、移民に反対する極右派は、フランスをフランス人に取り戻そうとしており、同時にあらゆる宗教的シンボルを制裁するため、極リベラル派の裁判所で訴訟中です。例えば、イスラム教徒にブルカを禁じるために、ユダヤ人にはヤムカを禁じる、といった感じです。これがとても興味深く、フランスは沸点に達しているのです。それが、バラク・オバマが休暇から戻るや否や、マクロンに電話をしました。

「自分は君の味方だ」

「マクロンはフランスのオバマだ」

と伝えた模様。マクロンは弱冠39歳で、彼よりも20歳年上の、自分の学生時代の先生と結婚しています。私はこの男を注意して見えています。この男はどうも怪しい、と私は思うのです。皆さんご存知の通り、私は反キリストが西ヨーロッパから出ると確信しています。それは若く、カリスマ性があり、世界を背負って立つような人物であるはずなので、私は、このような指導者を見るたびに、これがそうだろうかと思うのです。反キリストはすでに生まれていると、私は心の底から信じています。彼はすでに存命しています。今はエゼキエル38章が起こる可能性が非常に高いと思います。それが、このプーチンやイランの政権である可能性は高いのです。ですから、フランスが世界中に何を輩出するのか見るのは、とても興味深いことです。

また現在、私は「ダニエルの70週」に関するメッセージを用意しています。なぜ今、それを言うのかというと、ダニエル書9章に出てくる第70週の預言は、ダニエル自身が見た3つめの預言で、全ての預言者に与えられた預言の中でも、これは最も驚くべき預言だと思うのです。紀元前445年から7年続く大患難が始まるまでの全歴史が、ここに要約されています。その間にギャップがあって、そのギャップの中を今現在私たちが生きていて、そのギャップの間、神ご自身がユダヤ人の目を盲目にされました。それは、彼らが心を頑なにしたからです。聖書には、神が彼らの目を盲目にされると書かれています。もちろん、彼らの失敗は、イスラエルにねたみを起こさせるためのもので、聖書によれば、それに

よって異邦人に救いがもたらされたのです。皆さんもローマ書 11 章を読めば、異邦人の救いが、将来神がイスラエルにもたらされる救いとどのように巧みに織り込まれているか、よく分かると思います。面白いのが、聖書にはこう書かれています。将来的に異邦人の完成の時に来て、異邦人の数が完成すると、異邦人への扉が閉ざされると、その時、全イスラエルが救われるのです。このように、神が恵みによって異邦人が救われるようにされる時期、歴史上の時間的ギャップがあるのです。このために、私は非常に緊迫して伝えなければならないと思うのです。特に、異邦人の世界に対して。今にも扉が閉じられようとしているのです。そして、携挙が起こるや否や、神の働きがまたユダヤ人に戻るのです。そして、反キリストがどのようにして子（すなわちイエス）を産んだ女と、その子孫（ユダヤ人）を迫害するのか、聖書には明確に書かれています。もちろん、これまでの 2,000 年間、圧倒的に異邦人がキリストの元に来る中で、私自身もそうですが、ごく少数のユダヤ人も、恵みによって目が開かれ、真理が見えるようになったように、大患難の時には圧倒的にユダヤ人が救われ、ごくわずかな異邦人も恵みによって救われるかも知れないのです。ただ、今が異邦人の時、異邦人の教会の時であるように、次は、ユダヤ人の時となるのです。そこで皆さんに伝えたいことは、エルサレムのために、エルサレムの平和のために、イスラエルの人々の救いのために祈るのと同じくらい大事な事です。異邦人への扉は、間もなく閉じられようとしています。異邦人の時は完成間近です。そして、ローマ書 11 章によれば、それに続いて素晴らしいことが起こるとあり、それがダニエルに明かされたのです。時を改めて、ダニエルの第 70 週の預言について、全貌をお伝えします。

ただ、今、皆さんにお伝えしておきたいのは、全て書かれていることは、私達が学ぶために書かれているのであって、私達が忍耐強く、聖書を慰めとするなら希望があります。我々に与えられた希望は、世が与えたり、理解したりできるような希望ではないのです。我々に与えられた希望は、「祝福された希望」で知られるものです。そして、祝福された希望とは、私達が周囲のあらゆる背教を見た時、クリスチャンであるはずの信者がとんでもない道に逸れて行くのを見た時、世界が全くの盲目にされているのを見た時、もうすぐイエスがこの世から私たちを取り去るために来てくださる、という希望になります。だから、皆さん全員にお勧めします。皆さん全員を励ましたいのです。どうか忍耐強くいてください。そして、慰めはニュースから得るのではなく、センセーショナルに偽ニュースを伝える人たちから得るのではなく、戦争ごっこを仕掛け、自らを「Info War」などと呼ぶ者からでもなく、インターネット上の狂った教師たちからでもなく、——彼らはいつも衝撃的な見出しを打ちますが、その背後には何も確証となるものがありません。私達は信じる者として、慰めと忍耐は聖書から得なければなりません。それが、私達に希望を与えるのです。ですから、皆さんにお伝えします。もし、あなたがこの世に希望を見出したいのなら、忍耐、慰めをこの世から得たいのなら、聖書を見ない事です。全ての事は既に伝えられています。私達はそれを忘れてはなりません。

ということで、どうか皆さん、引き続きソーシャルメディア、フェイスブックで私達をフォローしてください。インスタグラム、ツイッター、You Tube=Behold Israel、それから、ウィークリーラウンドアップ（メルマガ）にご登録ください。毎週木曜日に、その週のニュースと、ミニストリーに関するアップデートをお送りします。いずれフェイスブックは私を締め出すことでしょう。それはもう、分かっています。そしてその時は、これが私と皆さんとの通信手段となります。どうか、Behold

Israel.org を訪れて、お名前と E メールアドレスを登録してください。そして、私達の E メールを受け取ることで繋がり合うことができますから。

それから、ボクシングの世界チャンピオンであり、伝説であり、信仰深いクリスチャン、そしてフィリピンの議員でもあるマニー・パッキョオと、彼の奥さんジェンキに招かれて、オーストラリアのブリスベンで、ジェフ・ホーンとの対戦の前の週、6月28日から7月1日まで、私が聖書をお教えすることになりました。シリーズのタイトルは「Are You Fighting The Good Fight?」(健闘しているか?)です。これはボクシングの用語ですが、私達も健闘することに集中しなければなりません。健闘とは何か?我々はなぜ、健闘しなければならないのか?我々は誰と健闘するのか?我々は何を健闘するのか?そしてその健闘で何を得るのか?そして、私達が避けるべき戦とは何か?健闘からは程遠いもの。このバイブルスタディーの様子は、フェイスブックライブで公開しようと思っています。ただ、あちらのインターネット環境がよく分からないので、皆さんにはそのつもりでいただければと思っています。

ということで、ここ数日の間に世界で起こった事についてご説明しました。エルサレムが再びニュースを飾り、トランプ大統領の訪問、NATOとヨーロッパ、ロシアとの緊張感が高まって来ています。どうか引き続き目を開き、頭を上を上げていてください。私達の贖いが確実に近づいていますから。

では、終わりの時の恒例になりました、民数記 6:24~26 のアロンの祝福を送りたいと思います。これは、主がイスラエルの民を祝福するように、アロンに命じられた事ですが、世界中のクリスチャンはイスラエルのオリーブの木に接ぎ木されたので、この油の恩恵に与る事の出来る者であると、私は信じています。そのために、この祝福は皆さんのものです。アロンは祭司として祝福しましたが、私達信じる者は、王国の祭司であると聖書には書かれています。私達は王国の祭司なのです。あなたは、ユダヤ人ではないかもしれませんが、でも、今や、あなたもただのユダヤ人ではなく、祭司です。どうぞ、目を閉じて、手を前に伸ばして、祝福を受け取ってください。私がヘブル語で皆さんの上に喜んで祝福を祈ります。

24 **主があなたを祝福し、あなたを守られますように。**

25 **主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。**

26 **主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。**

(民数記 6:24~26)

私達の理解を超える平安を、主が与えられますように。ヤシュア、イエスの御名でお祈りします。
アーメン。

このミニストリーに対する、皆さんのお祈りとご支援に感謝します。まだ抽選に参加されていない方、イスラエルへの無料ツアーご招待を獲得するチャンスがまだまだあります。5月末までに「Israel Unveiled Vol. 2」をご購入いただくと、抽選にお名前が加わります。その後抽選を行い、当選した方には、2018年の私とのイスラエルツアーにご招待します。ということで、ガリラヤから、素敵な夜を過ご

されますように。アメリカは朝、アジアは夜ですが、ここイスラエルとヨーロッパは「おやすみなさい」です。

I love you all!

God bless you from Galilee!

Bye-bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO